

(2016年度)

4 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は18ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章を読んで、問(1～7)に答えなさい。

アレクサンドロスの死後、部下の将軍たちが幾つかの国を建てた。これらの地域にはギリシア人が移り住んで、東西文化の融合がなされた。前4世紀末から西アジアは(1)朝の支配下にあったが、それが弱体化すると、前3世紀中ごろ、アム川上流域のギリシア人が独立して(2)を建てた。さらにアルメニア王国やベルガモン王国、隊商都市バルミラが独立した。またカスピ海南東部にいた(3)系遊牧民が有力となり、(4)朝パルティアを建国した。パルティアは前2世紀のミトラダテス1世のときメソポタミアを征服し、クテシフォンを建設した。また、(1)朝を滅ぼしたローマとしばしば戦いながら、東西交易路を押さえ、^(イ)絹貿易を独占して中継貿易で繁栄した。

パルティアでははじめヘレニズムの影響が強く、(5)語も用いられたが、^(ロ)のちにペルシア語が公用語となり、固有の文化を重んじるようになった。後(6)世紀になると、ペルシア湾東岸のペルシア人が(7)朝ペルシアをおこし、パルティアは、(8)によって滅ぼされた。(8)はクテシフォンで即位した。

(7)朝2代目の(9)は、ローマ軍に再三勝利してローマ領を荒らしたばかりか、^(ハ)ローマ皇帝を捕虜にし、東方ではクシャーナ朝を破り、領土を拡大するなどしておおいに威信を高めた。(7)朝は、5世紀後半に中央アジアの遊牧民(10)の侵入を受けて一時弱体化したが、6世紀には(11)が(12)と結んで(10)を滅ぼし、東ローマ帝国に対しても優勢を保った。しかし東ローマとの長い抗争は衰退を招き、642年(13)の戦いでイスラーム勢力に敗れ、まもなく滅亡した。

(7)朝ではペルシアの伝統を重んじて(14)を国教とした。その一方で東西文化の交流によってキリスト教や仏教も伝わり、さまざまな宗教を融合したマニ教が生まれた。(7)朝美術の影響は中国を経て日本にまで東伝し、^(ニ)正倉院に伝わる工芸品にそれを見ることができる。^(ホ)

問1 文章中の空欄(1～14)に入る語としてもっとも適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a アンティゴノス b セレウコス c プトレマイオス
d リディア
- (2) a 安息 b ウイグル c 突厥 d バクトリア
- (3) a イラク b イラン c エフタル d スキタイ
- (4) a アケメネス b アルサケス c ササン d パフレヴィー
- (5) a バビロニア b エラム c コプト d ギリシア
- (6) a 1 b 2 c 3 d 4
- (7) a アケメネス b アルサケス c ササン d パフレヴィー
- (8) a アルダシール1世 b シャープール1世 c ホスロー1世
d ヤズデギルド3世
- (9) a アルダシール1世 b シャープール1世 c ホスロー1世
d ヤズデギルド3世
- (10) a イラク b イラン c エフタル d スキタイ
- (11) a アルダシール1世 b シャープール1世 c ホスロー1世
d ヤズデギルド3世
- (12) a 安息 b ウイグル c 突厥 d バクトリア
- (13) a アルベラ b ニハーヴァンド c レヒフェルト
d プレヴェザ
- (14) a イシス教 b ミトラ教(ミトラス教) c ゾロアスター教
d マズダク教

問2 下線部(イ)に関連して、このとき(1)朝を滅ぼしたローマの将軍は誰か。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a カエサル b スラ c ポンペイウス d ブルートゥス

問3 下線部(ロ)に遠征したが、敗死したローマの将軍は誰か。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アントニウス b クラッスス c マリウス d レビドゥス

問4 下線部(ハ)に関連して、ローマ皇帝史上はじめての捕囚皇帝の汚名を着せられたのは誰か。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ウァレリアヌス b カラカラ c ハドリアヌス
d ユリアヌス

問5 下線部(ニ)の影響を青年期に受けたと、著書『告白録』に書いているキリスト教思想家は誰か。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アウグスティヌス b アンセルムス c エウセビオス
d トマス＝アキナス

問6 下線部(ニ)についての説明として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 教義的に、善悪二元論、禁欲主義、偶像否定を特徴としている。
b 教祖マニはバビロニア生まれで、当初はシャープール1世によって重用されたが、彼の死後、処刑された。
c その経典『アヴェスター』は、ホスロー1世の治世下で編纂された。
d 西方では北アフリカに広まり、東方では中央アジアおよび中国まで伝来した。

問7 下線()に関して、技法的にペルシア文化の東伝を示す正倉院御物を選択肢
(a～f)から2つ選びなさい。

a



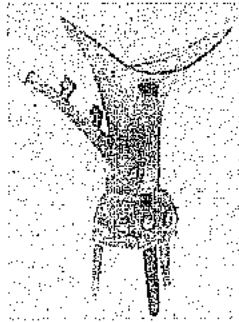
b



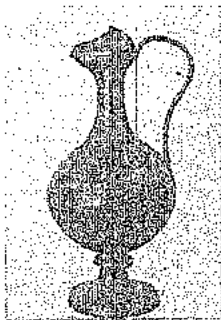
c



d



e



f



2

次の文章を読んで、問(1～9)に答えなさい。

領土の概念やその重要性は、歴史を通じて変わるものである。それは国家のあり方の変容と深く関わっている。

中世初期のヨーロッパにおいて、国家は、制度というよりも、人的結合関係の集積に近かった。たとえば、987年の(1)の西フランク(フランス)王即位について、同時代のある記録は、彼が「ガリア人、ブルターニュ人、⁽¹¹⁾ノルマン人、アキテーヌ人、⁽¹²⁾ゴート人、イスパニア人、ガスコーニュ人の王」となったと記している。このようにして形成された国家は、特定の領域に強く結びついた存在ではなかった。中世ヨーロッパの地図に国境線が書き込まれることがまれだったのは、⁽¹³⁾測量技術の未発達よりも、むしろその必然性が弱かったためである。

近世になると、⁽¹⁴⁾主権国家が概念として形成され、それにともない国境も重要な争点になる。それを如実に示すのが、(2)期のフランスがとளைたとされる自然国境説である。これは、フランスの「自然な」国境として、北の英仏海峡、東側の(3)と(4)、南側の⁽¹⁵⁾地中海、南西の(5)、西の⁽¹⁶⁾大西洋を想定する思想であり、この時期に⁽¹⁷⁾国王ルイ14世がおこなった度重なる対外戦争はこれを実現するためであったといわれた。

領土や国境の重視は、隣国との摩擦につながりうる。ここまで述べてきたフランスの場合、(6)地方をめぐるドイツと激しく対立したことがその最たる例である。(7)に含まれていた同地方は、17世紀以降、段階的にフランス王国に併合された。問題は、住民の大半がドイツ語に近い言語を母語としていたことである。これを根拠に、(8)に勝利したドイツは同地方を併合した。フランスは(9)に勝利して同地方を奪還するが、(10)中は再びドイツ領とされ、その後フランス領とされて現在に至っている。今日、(6)地方の中心都市ストラスブールに⁽¹⁸⁾ヨーロッパ連合(EU)の議会が置かれていることには、このような係争の地を融和の象徴にするという意味も含まれている。

問1 文章中の空欄(1～10)に入る語としてもっとも適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a オットー1世 b カール大帝(シャルルマーニュ)
c クローヴィス d ユーグ=カペー
- (2) a イタリア戦争 b 旧制度(アンシャン=レジーム) c 百年戦争
d 復古王政
- (3) a エルベ川 b オーデル川 c セーヌ川 d ライン川
- (4) a アペニン山脈 b アルプス山脈 c カルパティア山脈
d ピレネー山脈
- (5) a アペニン山脈 b アルプス山脈 c カルパティア山脈
d ピレネー山脈
- (6) a アルザス・ロレーヌ b シュレジエン
c シュレスヴィヒ・ホルシュタイン d ズデーテン
- (7) a オーストリア=ハンガリー帝国 b 神聖ローマ帝国
c スイス連邦共和国 d プロイセン王国
- (8) a クリミア戦争 b 第一次モロッコ事件 c ナポレオン戦争
d プロイセン=フランス(普仏, ドイツ=フランス)戦争
- (9) a クリミア戦争 b 第一次世界大戦 c 第二次モロッコ事件
d プロイセン=フランス(普仏, ドイツ=フランス)戦争
- (10) a 第一次世界大戦 b 第二次世界大戦
c プロイセン=フランス(普仏, ドイツ=フランス)戦争
d ラインラント進駐

問2 下線部(1)に関連して、ノルマン人について述べた文として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ゲルマン人の一派とされる。
b 12世紀に両シチリア王国を建国した。
c 7世紀にノヴゴロド国とキエフ公国を建国した。
d 11世紀にイングランドを征服した。

問3 下線部(12)に関連して、ゴート人について述べた文としてもっとも適切なものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 西ゴート人は北アフリカに王国を建てた。
- b 東ゴート人はイタリア半島に王国を建てた。
- c アッティラに率いられ、ローマと戦った。
- d ゲルマン人の大移動が始まったとき、バルト海沿岸に居住していた。

問4 下線部(13)に関連して、測量技術や度量衡について述べた次の文(ア、イ)の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

ア メートル法は、フランス革命期に制定された。

イ 羅針盤は、17世紀に中国からヨーロッパに伝わった。

- a アー正 イー正
- b アー正 イー誤
- c アー誤 イー正
- d アー誤 イー誤

問5 下線部(14)に関連して、近世ヨーロッパの主権国家体制について述べた文として波線部が誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a カトー＝カンブレジ条約でイタリア戦争は終結した。
- b オランダのグロテウスは『海洋自由論』を著わした。
- c ウェストファリア条約によってベルギーの独立が承認された。
- d 三十年戦争によって、スウェーデンはバルト海南岸に領土を得た。

問6 下線部(15)に関連して、地中海周辺での出来事について述べた文として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 後ウマイヤ朝は9世紀にコルドバを首都として建国された。
- b ユトレヒト条約によって、イギリスはジブラルタルを獲得した。
- c ウィーン会議によって、オーストリアは北イタリアに領土を獲得した。
- d 19世紀前半、ロシアはギリシア独立を支援した。

問7 下線部(16)に関連して、大西洋周辺での出来事について述べた文としてもっとも適切なものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a いわゆる三角貿易によって、ヨーロッパから武器や雑貨がアフリカに運ばれた。
- b ポストン茶会事件では、アメリカ植民地商人の船が襲撃された。
- c ハイチは、ナポレオン戦争期の混乱に乗じ、宗主国スペインから独立した。
- d カナダは、19世紀後半、連邦共和国としてイギリスから独立した。

問8 下線部(17)に関連して、ルイ14世の治世の出来事として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ナントの王令(勅令)廃止
- b ファルツ戦争(アウクスブルク同盟戦争)の勃発
- c フランス学士院(アカデミー)の設立
- d コルベール、財務総監に就任

問9 下線部(18)に関連して、ヨーロッパ統合について述べた文として正しいものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ドイツ外相シューマンの提案にもとづき、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が発足した。
- b マーストリヒト条約によって、ヨーロッパ経済共同体(EEC)が発足した。
- c スイスはオーストリアと同時にヨーロッパ連合に加盟した。
- d ノルウェーはヨーロッパ連合(EU)に加盟していない。

3

以下の文章を読んで、問(1～2)に答えなさい。

18世紀末から19世紀にかけて、西アジア地域は徐々に列強の従属国や保護国にされ、国境線が人工的にひかれていった。そのなかで、オスマン帝国の領土内では、西欧列強がバルカン・西アジア地域における権益を拡大するための政治的・経済的紛争が多く起きた。このような19世紀のオスマン帝国の領土内における国際紛争は東方問題と称され、1877～78年の(1)などが含まれる。

エジプトは(2)年、ナポレオン率いるフランス軍に占領された。ナポレオンは翌年に本国へ帰国するが、フランス軍はそのままエジプト占領を続け、オスマン軍・イギリス軍などと抗争を続けることになった。この抗争のなかで、オスマン帝国からエジプトに(3)人部隊の隊長として派遣されたムハンマド＝アリーは1805年、エジプト総督に就任した。彼を開祖とするムハンマド＝アリー王朝は、1952年のエジプト革命で滅んだ。

ムハンマド＝アリーは、オスマン帝国に、ワッハーブ運動やギリシア独立運動への出兵の代償としてシリアの領有を求めたが拒否されたため、オスマン軍と戦いこれを破った。しかし、ヨーロッパ諸国の介入により、1840年の(4)会議でエジプト・(5)総督の地位の世襲が認められただけに終わった。

ムハンマド＝アリー没後のエジプトでは、大規模な人工灌漑網が整備され、綿花栽培が発達した。さらに、1869年には(6)外交官レセップスの指導でスエズ運河が完成した。これにより、ロンドンからアジアへの距離は大幅に短縮した。

しかし、綿花にたよっていたエジプトの産業は綿花価格の下落により衰退した。当時、戦争中に輸出停止していた(7)産綿花の輸出が戦争終了後に再開されると、綿花の国際価格が暴落し、インドとともにイギリスへの綿花輸出主要国であったエジプトの経済は大打撃を受けたのである。1869年にスエズ運河が開通する頃には、エジプトの国家財政は外債の累積によって破綻寸前であった。1875年、エジプトはみずからが所有するスエズ運河の持ち株をイギリス首相(8)に売却したことでイギリス・フランスによる内政干渉を招き、エジプト財政は債権者である西欧列強の国際管理下におかれた。

この状況に対して、1881年、ウラービー(オラービー)革命とよばれる国民的な抵抗運動が起きた。この運動は、エジプト最初の民族運動であったが、イギリス軍に敗北し、指導者の軍人アフマド=ウラービー(オラービー)は(9)に流刑となった。

同年の1881年には、北アフリカの(10)がフランスの保護国となった。

また、スーダンで(11)がマフディーを名乗り、マフディーの乱とよばれる反英武力闘争を起こし、1885年にはハルツームを制圧した。しかし、1898年にエジプト・イギリス軍に鎮圧された。同国は、後の2011年に(12)が分離独立して、2つの国家になった。

同じく19世紀の西アフリカでは、(13)(1830頃~1900)がイスラーム国家を建設してフランスの侵略に抵抗した。しかし、(13)はフランスに敵対するイギリスの力を利用してながら抵抗したが、英仏両国の間に妥協が成り立ち、1898年に彼の帝国は崩壊した。

問1 文章中の空欄(1~13)に入る語としてもっとも適切なものを、選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

- (1) a ロシア=トルコ(露土)戦争 b エジプト=トルコ戦争
c イタリア=トルコ戦争 d クリミア戦争
- (2) a 1744 b 1774 c 1789 d 1798
- (3) a アルメニア b アフガン c アゼルバイジャン
d アルバニア
- (4) a ローザンヌ b ロンドン c ローマ d パリ
- (5) a サウジアラビア b スーダン c リビア d シリア
- (6) a イギリス人 b スイス人 c ドイツ人 d フランス人
- (7) a 中国 b アメリカ c ロシア d イラン
- (8) a デイズレーリ b グラッドストン c チェンバレン
d スタンリー
- (9) a セントヘレナ b シチリア c セイロン d モルディブ
- (10) a アルジェリア b モロッコ c チュニジア d リビア

- (11) a ムハンマド=アブドゥフ b ムハンマド=アフマド
c アブー=バクル d サイイド=アリー=ムハンマド
- (12) a 南部 b 北部 c 西部 d 東部
- (13) a ハイレ=セラシエ b サモリ=トゥーレ
c エンクルマ(ンクルマ) d ルムンバ

問2 下線部(イ～ヘ)に関する以下の問(イ～ヘ)の答えとしてもっとも適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

(イ) ナポレオンのエジプト遠征時に発見された石碑ロゼッタ=ストーンは神聖文字、民用文字のほか、何の文字で刻まれていたのか。

- a フェニキア文字 b ギリシア文字 c ヘブライ文字
d アラビア文字

(ロ) ムハンマド=アリーが自らの王朝を開いた当時のオスマン帝国のスルタン(在位1808～39年)は誰か。

- a セリム3世 b マフムト2世 c アブデュルメジト1世
d アブデュルハミト2世

(ハ) 1952年のエジプト革命を起こした軍人の1人で、エジプト共和国の初代大統領になった人物は誰か。

- a ナセル b サダト c フセイン(フサイン) d ナギブ

(二) ワッハーブ運動について述べた次の文(ア, イ)の正誤の組み合わせとして正しいものを, 下の選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

ア ワッハーブ運動はイスラーム神秘主義教団が起こした運動である。

イ ワッハーブ運動はシーア派に属する改革運動である。

a アー正 イー正

b アー正 イー誤

c アー誤 イー正

d アー誤 イー誤

(三) オスマン帝国が1829年にロシアと結び, ギリシアの独立を承認した条約はどれか。

a アドリアノーブル条約 b サン=ステファノ条約

c カルロヴィッツ条約 d ベルリン条約

(四) アフマド=ウラービー(オラービー)に影響を与えた思想に関して述べた文として誤っているものはどれか。

a アフガーニーと弟子のムハンマド=アブドゥフは1884年にイスタンブルで雑誌『固き絆』を刊行した。

b イランのタバコ=ボイコット運動の際に, アフガーニーはウラマーたちに手紙を送って戦いをうながした。

c アフガーニーの弟子のムハンマド=アブドゥフはウラービー(オラービー)の蜂起に参加した。

d アフガーニーが提唱したパン=イスラーム主義は, 19世紀末のオスマン帝国では政治的に利用された。

4 次の文章(①～③)を読み、以下の問(1～8)に対して、答えを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

① ソ連の承認を得た北朝鮮軍は、北緯38度線を越えて侵攻し、韓国軍を圧倒してソウルを陥落させて、さらに南下を続けた。これに対して、(ア)大統領は、アメリカ軍を主力とする(イ)を現地に派遣した。その総司令官であるマッカーサーは仁川上陸を敢行して戦局を逆転させ、敗走する北朝鮮軍を追って、38度線を突破し、さらに中国国境にまで達した。これに危機感をもった中国軍は、国境線にあたる(ウ)を渡り、アメリカ軍の油断をついて大打撃を与え、戦局を再度逆転させて南下した。その後、アメリカ軍も態勢を立て直し、38度線付近で戦線は膠着して消耗戦に入った。開戦から約3年後に、休戦協定が結ばれたが、この戦争が東アジアの国際関係に及ぼした影響は大きかった。アメリカは中国を東アジアの秩序に対する最大の脅威と見なすようになり、中国包囲網を強化した。一方、中国にとっては、アメリカのこのような動きこそが中国への脅威であり、近い将来におけるアメリカの侵攻に対処できる国内態勢を築くことが、最大の課題として意識された。

② 「(エ)」政策の失敗によって最高権力者の地位から退いていた毛沢東は、当時の国家主席(オ)らを「実権派」・「走資派」と呼んで批判し、彼らを標的にした激しい権力闘争を開始した。このとき、毛沢東個人に忠誠を誓う青少年の集団である(カ)を利用して「実権派」を打倒し、党・政府の機構を破壊させた。ところが、彼らの暴力が氾濫して收拾がつかなくなると、毛沢東は(キ)が掌握していた軍隊に頼るようになった。こうして台頭した(キ)は、一時は毛沢東の後継者として指名されたが、その後、亡命を企図してソ連に向かい、搭乗機が国境付近で墜落して死亡した。今日でもなお不明な点が多い事件である。他方、この事件の背後では、中国の外交政策の大転換が進んでいた。すなわち、事件のほぼ半年後、(ク)が中国を訪問して、全世界を驚かせた。(ケ)戦争が泥沼化し事態の打開を図りたいアメリカと、上記権力闘争の過程でソ連との対立が決定的になった中国とが、

- (カ) a 紅衛兵 b 共産主義青年団 c 青年義勇隊
 d 四人組 e 文革小組
- (キ) a 彭德懷 b 朱德 c 周恩来 d 林彪
 e 江青
- (ク) a ニクソン b ジョンソン c ケネディ d レーガン
 e カーター
- (ケ) a 朝鮮 b ベトナム c パレスチナ d 湾岸
 e イラク
- (コ) a 胡耀邦 b 胡錦濤 c 李鵬 d 趙紫陽
 e 華国鋒
- (サ) a 習近平 b 朱鎔基 c 胡錦濤 d 江沢民
 e 薄熙来

問2 下線部(A)の人物に関する説明としてもっとも適切なものを答えなさい。

- a この人物は連合国軍総司令部に属することなく、日本の占領政策を取り仕切った。
- b この人物は、アメリカで「赤狩り」と呼ばれた反共宣伝活動の中心的な存在であった。
- c この人物は、中国東北地方の爆撃を主張し、アメリカ大統領に解任された。
- d この人物は、極東軍事裁判で天皇の戦争責任の追及を続けた。
- e この人物は、第二次世界大戦中、ビルマに派遣されて日本軍を撃退した。

問3 下線部(B)の具体的事例としてもっとも適切なものを選びなさい。

- a 安全保障理事会の設置
- b 日ソ国交回復
- c ラッセル・アインシュタイン宣言
- d 北大西洋条約機構(NATO)の成立
- e 日米安全保障条約の締結

問4 下線部(C)の具体的な実施例として適切でないものを選びなさい。

- a 重工業に重点をおいた急速な経済発展がめざされた。
- b 沿岸地域よりも、内陸部を優先した工業投資が行われた。
- c 対外経済開放の拠点を設置され、外資や技術の導入が大きく進展した。
- d 農業の集団化が急速に進められ、個別農家の自由な経営はできなくなった。
- e 都市の住民は、最低限度の生活を保障する「単位」に組織され、厳しく管理された。

問5 下線部(D)の中国訪問の前に起こった出来事を選びなさい。

- a 毛沢東の死去
- b ベトナム和平協定の締結
- c 日中平和友好条約の締結
- d 人民公社の消滅
- e 中ソ両国による珍宝島での武力衝突

問6 下線部(E)の年に起こった出来事ではないものを選びなさい。

- a ベルリンの壁開放
- b ホネカー書記長の解職
- c ソ連の消滅
- d ソ連軍のアフガニスタンからの撤退完了
- e マルタ会談

問7 下線部(F)の人物の説明として適切でないものを選びなさい。

- a この人物は、若い頃、フランスに留学し、共産主義運動に参加した。
- b この人物は、農業・工業・国防・文化の「四つの現代化」を最初に提唱した。
- c この人物は「白い猫でも黒い猫でもネズミをとるのがいい猫だ」と語った。
- d この人物は、イギリスとの間で香港返還合意を取り付けた。
- e この人物は、中ソ論争において中国側論客としてソ連側と論戦し、頭角を表した。

問8 下線部(G)の具体的事例として適切なものを選びなさい。

- a チャウシェスク大統領の処刑
- b ワルシャワ条約機構の設立
- c ハンガリー事件
- d 雨傘革命
- e 自主管理労組「連帯」の結成

